

## 株式会社 松屋 2024年10月上報告

1. 店舗別 売上高概況 (単位:%)

	売上高	入店客数
① 銀座本店	13.9	5.1
② 銀座店	14.9	9.6
③ 浅草店	-9.1	-2.3

※「銀座店」のみの売上高対前年増減率(%)を表記しております。  
 ※「浅草店」のみの売上高対前年増減率(%)を表記しております。

2. 売上高対前年増減率推移 (単位:%)

	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
銀座本店	21.1	19.2	24.1	35.6	35.0	31.5	40.8	31.6	36.9	15.9	1.0	13.9
松屋銀座	24.9	18.8	22.3	36.3	28.6	31.6	43.6	35.2	38.5	16.0	2.4	14.9
松屋浅草	-21.7	24.2	53.4	23.3	118.0	30.8	-8.4	-15.8	4.1	12.4	-19.0	-9.1

3. 店舗別商況

銀座店	10月の銀座店は、前年に対して約15%増となりました(前年に大口受注があった浅草店を含めた「銀座本店」では、前年比約14%増)。商品別では、化粧品が前年比約38%増、ラグジュアリーブランドは同約21%増、宝飾は同約4%増になる等、銀座店の強みとなるカテゴリーは好調に推移いたしました。一方、免税売上高につきましては、為替が変動する中においても前年比約41%増となる等、引き続き、全館を牽引しております(免税売上高が銀座店全体に占める割合は、前年比8.6ポイント増の約47%)。今後も、年末に向け、幅広い国からのお客様の増大等も予想され、化粧品等を皮切りとした百貨店の強みを生かした様々な商品の買い回りが進むことが想定されます。また、依然、秋らしくない気温等の諸条件を受けながらも、カードホルダー等への各種施策が奏功し、免税売上高を除く国内のお客様の売上高は前年を上回りました。
-----	--

4. 商品別売上高対前年増減率 (単位:%)

	銀座本店	松屋銀座
紳士服・洋品	1.1	-5.0
婦人服・洋品	-1.8	-1.6
子供服・洋品	17.7	17.7
呉服寝具他	-19.1	-14.6
衣料品計	-2.1	-1.8
身廻り品	16.9	17.0

	銀座本店	松屋銀座
雑貨	2.9	4.4
家具	-12.0	-11.5
家電	131.5	131.5
家庭用品	-20.3	-20.4
家庭用品計	-13.1	-12.8
食料品	2.8	4.5
食堂・喫茶	3.2	3.2
サービス、その他	-65.9	-67.0
合計	13.9	14.9

※「2024年11月上報告」は、  
12/2(月)16時の開示を予定しています。

お問い合わせ先  
 松屋 総務部コーポレートコミュニケーション課  
 TEL(03)3248-8311